

## 景観計画区域内行為届出書

(第1面)

年 月 日

(あて先) 宇都宮市長

届出者 住 所 〒

氏 名

電話番号

〔 法人にあつては、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり関係図書を添えて届け出します。

行為の場所	宇都宮市			
景観計画 区域区分 (※1)	地域別	【 北西部・北東部・中央・東部・南部 】 地域		
	ゾーン種別	【 山地丘陵・田園集落・住宅地・都心・工業流通 】 景観ゾーン		
	景観形成重点地区等	<input type="checkbox"/> 景観形成重点地区 ( 地区) 内 <input type="checkbox"/> 景観形成推進地区 ( 地区) 内 <input type="checkbox"/> 上記以外の地区		
行為の期間	着手予定日	年 月 日	完了予定日	年 月 日
行為の種類 (※2)	<input type="checkbox"/> 建築物	用途		
		行為区分	新築・増築・改築・移転・修繕・模様替・色彩の変更	
	<input type="checkbox"/> 工作物	種類		
		用途		
		行為区分	新築・増築・改築・移転・修繕・模様替・色彩の変更	
	<input type="checkbox"/> 開発行為	用途		
	<input type="checkbox"/> その他	用途		
設計者の住所, 氏名	住所 〒	電話番号		
施工者の住所, 氏名	住所 〒	電話番号		
代理者の住所, 氏名 (※3)	住所 〒	氏名	※受付	
	電話番号			
備考				

備考 1 景観計画区域区分欄には、該当する地域・ゾーン種別にそれぞれ○で囲み、該当する□にレ点を記入してください。

2 行為の種類欄には、該当する□にレ点を付け、行為区分を○で囲んでください。

3 「代理者の住所, 氏名」欄には、届出に関する問い合わせ先を記入してください。

行為 の 施 行 内 容	建 築 物	区 分	届 出 部 分	既 存 部 分	合 計	
		敷地面積			m <sup>2</sup>	
		建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
		延床面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
		高 さ	m	m		
		屋根	仕上材料 (※4)	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
			色 彩 (※5)	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
		外 壁 等	仕上材料 (※4)	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
			色 彩 (※5)	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
		構造(※6)	造 階建	造 階建		
	工 作 物	区 分	届 出 部 分	既 存 部 分	合 計	
		築造面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
		高さ(※7)	m	m		
		外 観	仕上材料 (※4)			
色 彩 (※5)						
構造(※6)						
開 発 行 為	目 的 的			面 積		
				m <sup>2</sup>		
そ の 他	目 的 的			面 積		
				m <sup>2</sup>		

- 備考 4 仕上材料欄には、表面仕上げの材料名を詳しく記入してください(例：日本瓦、小口タイル、波形スレート等)。また、建築物については、その材料ごとの面積を併せて記入してください。
- 5 色彩欄には、主たる部分についての色調を記入するとともに、できる限り日本工業規格に従いマンセル値を記入してください(例：濃い茶色(5YR3/3)、薄い茶色(N8)、淡い緑色(10G6/2))。また、建築物については、その色彩に係る部分の面積を併せて記入してください。
- 6 構造物欄には、木造、鉄筋コンクリート造等の別を記入してください。
- 7 工作物欄の高さ欄には、当該工作物の高さを記入してください。ただし、建築物と一体となって設置される工作物については、括弧書きで地盤面から当該工作物の上端までの高さを併せて記入してください。
- 8 各欄に記入しきれない場合は、添付する図書に詳しく記入してください。